

まいづる 元気人 21

アートが運ぶ幸せの種

一般社団法人 **torindo** 代表理事 **森 真理子** さん



現代芸術の1つの形態として一般的にも認知されつつある「アート・プロジェクト」。舞鶴を拠点に多くの市民参加型のアート・プロジェクトをプロデュースし続け、市の文化芸術分野の幅を広げてこられた一般社団法人 torindo 代表理事の森 真理子さんにお話を伺いました。

プロジェクト型のアート

「舞鶴は、アート（芸術）活動を展開する上でも素材が豊か。自然環境であったり歴史や建物であったり、ものすごく多様性、可能性があります」と話すのは、平成21年から舞鶴で「アート・プロジェクト」と呼ばれる現代芸術分野の作品を企画・運営・発表している団体「torindo(トリンド)」代表理事の森さん。

「アート・プロジェクト」には明確な定義はない。森さんが主に手掛けるものは、地域の住民とともに作品を制作することで関わる人々の心の活性化を図る活動。全国から芸術家を迎えることもある。制作過程や鑑賞者の心の動きまでも「アート」とするものだ。森さんはこれまで、「種は船プロジェクト」「とつとつダンス」「Go-Show」といった市民も参加できるようなプロジェクトに携わってきた。

「私の仕事は、芸術家と市民をつなげて『心の化学反応』を起すやわらかい。それによって、幸せな気持ちになったり、心づゆゆをもつてくれると嬉しい」と話す。

アートの役割

森さんにアートの役割は何かを聞いてみた。「これは、私個人の中の一つの定義に過ぎませんが」と前置きしながら、次のように話してくれた。

「アートとは、人々の考え方や見方を揺るがすことや異なった形を提案することによって、感動を与えたり変化をもたらしたりするものではないでしょうか。そして、言葉を選びながらゆっくりと静かに語ってくれた。」

「アートとしての表現活動は、『物事はこつあるべき』といったルールから解放され、自由で、あらゆるものが許される。制限が無い。そして、それを外に向けて発表すると認めてもらえたり喜んでもらえたりする。このような表現活動の場は、普段、人々がルールに縛られる社会の中でとても大切な存在だと私は思います。」

「私達が生きている現代社会には、『ある種の生き辛さ』を感じている人が大勢いると思います。アートには視点を変えて物事や自分自身を見直したり、心の休息場所を与える力があります。アートに出会うことによって人々に良い変化が訪れしてほしい。そういった拠り所の一つとして私達のプロジェクトが役に立てばいいと思います。」

現在進行中のプロジェクト

torindo が運営するアート・プロジェクト「MAZURU RB」の作品「時間旅行博物館」が10月から期間限定で公開される(10ページ関連記事)。

「体験しながら楽しめる作品です。多くの市民の皆さんに気軽に来たいです。自由で感じてもらえれば」と森さん。かわびご縁を。

まいづる花図鑑 98

【サラシナショウマ】(キンポウゲ科) 見ごろ 10月頃



各地の山野に生える多年草。茎は直立し、高さ1～1.5mになる。根出葉は2～3回3出複葉、小葉は卵形で大きな鋸歯があり、先は尖る。

秋に、茎の先に穂状の花序を出し、白色の花を密に付けて20～30個の花穂となる。

名前の由来は「晒菜升麻」で、若葉を茹でて水に晒して食用としたことから。また、漢方では根茎を乾燥させたものを「升麻」と呼び、解熱や口内炎などに用いる。舞鶴では少なく、稀に見られる。

【協力】

瓜生勝朗 市文化財保護委員(植物分野)

